

※実務経験のある教員による授業科目

## 授業概要

将来教員を志願する者が教員としての資質能力の基礎を体得することを志向し、小学校各教科等の内容と指導法、教職教養の内容、論作文の内容等を中核に据え、担当教員が小学校等、自身の教育現場での実務経験を基に、教師として必要な知識や授業技術の基礎を学べるよう講義する。特にここでは、平成29年に改訂された学習指導要領との関わりを重要視しながら取扱い、個々人の教科等に関する教育観、指導観を構築するようにする。

## 授業計画

第1回	オリエンテーション（教員採用選考試験の内容）
第2回	小学校各教科等の内容と指導法① 理科
第3回	小学校各教科等の内容と指導法② 社会
第4回	小学校各教科等の内容と指導法③ 国語
第5回	小学校各教科等の内容と指導法④ 算数
第6回	小学校各教科等の内容と指導法⑤ 生活・家庭
第7回	小学校各教科等の内容と指導法⑥ 道徳・特別活動
第8回	教育講演会（教員採用選考試験の動向など） ※学外講師招聘
第9回	教師の言葉かけ、幼小連携など
第10回	教師の技術① 教授行動（板書・発問等）
第11回	教師の技術② 教授行動（机間指導等）
第12回	指導案の作成と意義
第13回	小学校での授業の参観 ※学外活動（市内小学校など）
第14回	論作文の書き方①（生きる力）
第15回	論作文の書き方②（確かな学力）
第16回	テスト・まとめ

## 達目標

小学校各教科および教職教養の知識を向上させ、学習指導案の作成の基礎を身に付ける。論作文の書き方を理解する。

## 履修上の注意

小学校の教職を目指すとの自覚を持って授業に参加すること。遅刻の取り扱いは、遅刻3回で欠席1回として扱う。また、20分以上の遅刻は欠席として扱う。

## 予習・復習

授業内容は、将来教職に就く際に必要な基礎学力の育成を目的としたものである。毎回の授業が次の時間へ発展していくので、そのことを念頭において復習に力を入れること。

## 評価方法

原則として1/3を超える欠席をした者は評価対象とはしないので気をつけること。評価は授業への取り組み(30%)、課題及びテスト(50%)、プレゼンテーション等(20%)で総合的に判断する。

## テキスト

文部科学省『小学校学習指導要領』（最新版）を適宜使用する。  
その他の資料については、授業内で説明する。